



卒園ピクニック

すずか幼稚園と第2すずかきしおか幼稚園では、卒園を前にした年長組が合同で「卒園ピクニック」をしています。

毎年、鈴鹿サーキットへ行き、あらかじめ自分たちで何のアトラクションに乗るかを決め、グループに分かれてサーキット内で遊んで回ります。

今年も、2月21日(金)に卒園ピクニックを実施しました。

この週は三重県内でも大雪警報が出るほどの寒波で、鈴鹿市内も積雪があるほどでしたし、卒園ピクニックの金曜日はまだ寒波が居座っており、寒い中での屋外活動となりました。寒さへの備えとして、多くの子どもたちがご家庭での防寒着を着用していました。

寒くはあるものの天気には恵まれ、今年も通園カバンを持たずに活動したため、水筒一つで身軽に動けました。

各幼稚園から通園バスに乗ってサーキットへ集合し、入場後にクラス写真を撮り、グループでの散策が始まりました。

昼食場所の「プッチタウン」内のレストランへは全員が一度に入場することができないため、前半に昼食をとり後半はアトラクションというクラスと、その逆のクラスとに分かれての行動です。

それぞれのグループには幼稚園の教職員がつき、自分たちが選んだアトラクションへ向かい、アトラクションに乗る際に教職員からチケットを受け取って乗車しました。

自分たちが選んだアトラクションですので、乗車中は満足げな表情でしたが、「アドベンチャードライブ」というコースター系のアトラクションでは、「こんなに怖いと思ってなかった」とビックリしながらの感想も聞かれました。

アトラクションやレストラン、各所の遊び場でいっぱい遊んだ子どもたちは、集合時間に遅れることもなく各クラスで集まり、サーキットを後にしました。

各園に帰ってからおやつを食べ、サーキットの話で盛り上がり、ちょっと疲れも出た様子の子もいましたので、この夜はぐっすり寝たのではないのでしょうか。



オリエンテーリング

すずか幼稚園と第2すずかきしおか幼稚園では、毎年三学期の終わり頃に各園で「オリエンテーリング」をしています。

今年も、2月27日(木)に両園でオリエンテーリングを開催しました。

すずか幼稚園では、全園児が神戸公園に移動し、年長組が年少組や年中組とペアになり、中には年中組同士でのペアもあり、二人が手をつないで公園内を走り回りました。また、年年少組はクラス全員で神戸公園内を歩いて回りました。

今年も、絵本「パンドロぼう」の話が中心になっていて、公園内に隠れている5匹のパンドロぼうを探してスタンプを押してもらおうというシナリオでした。

教員がパンドロぼうにちなんだ劇が始まると、ワクワクした表情になり、スタートの合図がかかると、ペアになった子どもたちは、パンドロぼうを探して公園内を行ったり来たりしながら走っていました。走り回って疲れてしまう子もいましたが、ペアとなった子と手をつないで公園内に隠れているパンドロぼうを一生懸命探す様子は、とても微笑ましいものでした。

第2すずかきしおか幼稚園は、園舎の中でオリエンテーリングをしました。

自分で色塗りしたポケモンカードを持って、遊戯室に集合し、ペアを作って各部屋のポケモンを探しにゲームスタート！お友だちと協力して、玉入れ・パズル・的あて・積み木・橋渡し・カードめくりを楽しみました。

最後は園長先生からごほうびのピカチュウのメダルをもらい、集めたポケモンや、もらったメダルを友だちと見せ合っていました。

オリエンテーリングでは、異年齢のお友だちと手を繋ぎ、一緒にゲームに回ります。年少児や年年少児に優しく声を掛ける、年中児・年長児の姿も見られました。



一日禅語 「自分なりの価値観」を持つ

青春とは、何か。若さである。では、若さとは何か。人から、よいとか悪いとか評価されても、ほとんど気にしない点にある。

ところが年をとるにつれ、他人から、よいとか悪いとかいわれると、とてつもなく、苦しくなってしまうのだ。そこから、妙に引っ込み思案になったり、不必要な劣等感ばかり持つようになる。

「不思議・不思議」これは、慧能(えのう)の禅語である。あまり、しつこく、あれがいい、これは悪いという世間の評価で、自分を傷めてはいけない……と。「善とも思わず、悪とも思わず」に、世の中の善悪を超越したところに、自分自身の心の中に、自由自在な自分らしい善悪の判断が生じてくる。

あれこれ、意見や主義の討論を聞いていても、実際のところ、ちょっと冷静になれば、どちらがいいのか、その善悪の基準はまったくわからない場合が多い。

(心がスーッと晴れる 一日禅語 より)